

学校 教育 目標 公開	『 子どもが輝き とともに学び合う 鴨一小 』				
	学ぶ楽しさと創り出す喜びを感じ、主体的に学ぶ子どもを育てます。 礼儀や規律を重んじ、他者を思いやり行動する子どもを育てます。 命を大切に、明るく元気な子どもを育てます。 活動を通して自分の役割を認識し、集団と積極的にかかわる子どもを育てます。 自分のまちや地域を大切に、地域とかかわる子どもを育てます。				
学校 概要	創立 39 周年	学校長 喜々津 好宏	副校長 藤本 尚子	3 学期制	一般学級：12 個別支援学級：2
	児童生徒数：280 人	主な関係校：鴨志田中学校 鴨志田緑小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
進んで考えを伝え合う力  人と学ぶ・人に学ぶ・自ら学ぶ力	鴨志田中学校  鴨志田緑小学校  鴨志田第一小学校	・「あったかさ」に表される豊かな気持ち、地域を思いやる気持ちをもつ子 ・互いを認め合い、伝え合い、学び合う子 ・主体的に学習に取り組む子 ・運動に楽しく取り組み、健やかな体をはぐくもうとする子 ・リーダーシップを発揮し、貢献する子 ・小中合同授業交換会で「人と学ぶ・人に学ぶ・自ら学ぶ」を意識した授業を展開する ・小中合同人権研修で教職員の人権感覚を磨く ・ふれあいコンサートで演奏や歌を発表したり、他校や地域の方の発表を聴いたりし、互いを認め合ったり、学び合ったりする子を育む ・児童生徒参加型学校地域防災訓練の継続的な取組により、地域に貢献できる子を育む ・児童生徒交流日で小学校6年生が中学校の授業や部活動の見学や体験をし、中学校への円滑な接続を図る

中期 取組 目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりが自己有用感をもち、自分の言葉で表現し進んで行動する子を育てます</li> <li>人とかかわりを大切に、まちを愛する心を育てます</li> <li>「学習が分かる、楽しい」と実感できる授業づくり、考える力・学び合う力を高める授業づくりを推進します</li> </ul>
----------------	---

重点取組分野	具体的取組
生きて はたらく知	新教育課程により各教科・領域の目標及び内容が、「資質・能力の3つの柱」で整理されたことを受け、算数科を重点研究教科とし、3つの柱の中の一つである「学びに向かう力、人間性等」の涵養について追究していく。自分の思いや考えの根拠をしっかりと伝えて伝える力を伸ばし、自ら学習課題を見つけ問題を解決していく力を身に付けられるようにする。
担当 研究部	
豊かな心	①各学年の児童がそれぞれの役割を自覚して自分の役目を果たそうとする姿を目指し、たてわり活動や異学年交流を一層推進する。②礼儀や規律を大切に、友達を思いやる行動ができるように、児童一人ひとりが主体的に自己を見つめ、よりよい生き方を考え議論する道徳科の授業を充実させる。そのために、教職員研修を行うとともに、授業参観等で保護者に道徳科の授業を公開する。
担当 特活部・道徳部	
健やかな体	①年間を通してなわとび運動(長縄・短縄)に取り組む。②「S(姿勢)H(歯みがき)T(手洗い)、3つのきれいで元気アップ！」を合言葉に、基本的な生活習慣の定着を目指す。学校と家庭とで連携を図り、姿勢・歯みがき・手洗いを中心に年間を通して取り組む。また、睡眠についても扱い、意識を高める。
担当 体育部・保健部	
地域連携・ 学校運営協議会	①学校地域総合防災訓練の実施や地域行事への参加、学習サポート依頼などによって、地域や中学校ブロックの3校と連携し教育活動の充実を図る。②学校運営協議会では、児童の活動の様子が伝わるよう、資料等を工夫する。また、学校便り等でその活動を周知し地域と連携した教育活動を行う大切さを伝えていく。
担当 教務部	
児童生徒指導	①職員間で定期的な情報交換を行うとともに、児童理解研修やY-P研修を行い、児童や学級の実態把握と共通理解を図る。②「鴨一スタンダード」で学校全体として共通した指導を行い、児童が落ち着いて学校生活を送り、自主的に行動できるようにする。
担当 指導部	
特別支援教育	①特別支援委員会による校内研修会を開催するとともに、関係機関との連携を図り、全教職員で児童理解・児童支援を進める。②特別支援コーディネーターを中心に、個のニーズに応じた対応を組織的に進める。
担当 特別支援委員会	
いじめへの対応	①「いじめ防止対策委員会」での定期的な情報交換や、児童への生活アンケートを行い、いじめの未然防止と早期発見に取り組む。②いじめが考えられる場合には、「いじめ防止対策委員会」で対応方針を決定し、組織的に対応にあたる。③校内研修を通して、職員の人権意識を高める。
担当 いじめ防止委員会	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①校内メンターチームの研修を確実にを行うために、計画的に時間を設け、モデルリーダーや主幹教諭の指導を受ける。②教職員の働き方改革として、子どもと向き合う時間や自ら学ぶ時間を確保できるようあゆみの形式の変更等、校務の精選・改善を行う。
担当 教務部	